

JSAT衛星管制施設



JSATの衛星管制は横浜衛星管制センターで集中的に行われている。

この管制センターからの直接運用だけでなく、十王、君津に各局に設備を分散し、リモート運用や熊本、根室に設置しているTAR局を使ったレンジングも実施する。

バックアップ局として、JCSAT系衛星は群馬衛星管制所、NSTAR a / b系衛星は君津管制センターがある。



横浜衛星管制センター (YSCC)



群馬衛星管制所 (GSCS)

JSATが目指す事業像



目指す
事業像

「衛星＋映像」
ソリューションプロバイダー

放送・CATV
デジタル化支援

国内＋
グローバル

固定衛星業務
＋モバイル／ユビキタス

JSATのコアコンピタンス

「衛星＋映像」ソリューション提供
「放送／通信融合」ソリューション提供

JSATの進む道

外部環境変化(機会)

放送のデジタル化前倒し

デジタルTVの本格出荷、早期普及

映像高画質化・高機能化

映像コミュニケーション定着へ

1種／2種区分の撤廃

外部環境変化
(脅威)

地上系との競争激化

放送手段の多様化

現状

トランスポンダ
販売中心

日本国内
中心

固定衛星業務
中心

民にできることは、民にやらせていただきたい

衛星通信ビジネスは引き続き民間でやらせていただきたい。(民業を圧迫することのないように)

官はハイリスク・民間で不可能なことに特化

ロケットの開発等、ハイリスクで民間で不可能な研究開発にこそ官の役割がある。

官の研究開発の一部は相乗りで引き受けも可能

民の衛星に官の実験・研究開発ミッションを相乗りさせる方法や、官の応用実験を民の事業者で引き受ける等をご検討いただきたい。